



# みむろの風

学校教育目標 「生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造する学校」

令和7年度  
八代市立第八中学校  
令和7年8月29日  
第7号 文責 坂本太郎

## 2学期が始まりました。行事や学習を充実したものに！

夏休みも終わり、8月25日から2学期がスタートしました。また、8月11日未明からの豪雨では八代市内の多くの地域で被害が出ました。改めて自然災害の恐ろしさと日頃から災害に対する準備と避難の大切さについて考えさせられました。これから台風シーズンになります。生徒たちにも1学期に実施した防災集会の内容を思い出し、災害に対する備えをしっかりとしておくように話をしたところです。

さて、話を学校生活に戻しますと、2学期は「充実の学期」と言われています。早速9月20日は体育大会。当日は八中の底力、「ハ中プライド」を見せてもらえることを楽しみにしています。その後は、10月には中体連駅伝大会、11月には紅葉祭・合唱コンクール、12月は2年生の修学旅行と大きな行事が目白押しの2学期です。学習面でも、来週から始まる前期期末考査、10月末には3年生の県共通テスト、11月初めには後期中間考査、12月には1、2年生の熊本県学力調査が控えています。このように、行事やテスト等が続きますが、子供たちが大きく成長する学期でもあります。



### 身に付けてほしい3つの力

- 「みつめる力（省察）」
- 「みとおす力（展望）」
- 「つなげる力（連携）」

八中では、生徒に身に付けて欲しい3つの力として「見つめる力」「みとおす力」「つなげる力」を位置づけています。2学期はこの3つの力を育んでいく絶好の機会と捉えています。様々な行事を成功させるために、また、定期考査や学力調査等において力を発揮するために、「何をしなければならないか現状を振り返り」（見つめる力）、「成果を出すためにどのように計画し実行していくか」（みとおす力）、そして「みんなの力をどうすれば結集できるか、また、これまでの学習をどのように積み上げていくか」（つなげる力）、ということになると思います。それぞれの行事やテストが終わった後に、一人一人が達成感や充実感を感じができるように頑張ってほしいと思います。

子供たち一人一人は素晴らしい可能性をもっています。2学期の終業式では、何か一つでいいので、自分自身が「これは頑張った」「ここは成長できた」と思えるように、何事にも前向きに、積極的に取り組み、皆さん一人一人がいきいきと躍動し、大きく成長してくれることを期待していますと始業式で話をしました。ご家庭でも、子供たちのでききたことを大いに認め、褒めてあげてほしいと思います。

## 体育大会に向けて練習が始まる！熱中症対策も万全に。



今年の体育大会は、9月20日（土）に実施する予定です。本年度の体育大会も子供たちの体力や健康面、熱中症予防対策を踏まえ、午前中のみの半日開催で計画しています。学校では、早速始業式の翌日から体育大会に向けての全体練習が始まりました。今年も残暑が厳しいことが予想されます。昨年度の反省を踏まえて、練習計画を見直し、全体練習等は原則朝の1・2時間目に行なながら、練習内容によっては体育館で実施

するようにしました。また、体育大会までは、前期期末考査の期間を除き、体育服で登下校することとしました。練習後は制服に着替えて授業を受けることになりますので、制服を忘れることがないようご家庭でもお声かけをお願いします。

また、PTAから中体連駅伝や体育大会の練習に向けて、熱中症対策としてミストシャワーを購入していただきました。早速グラウンドに設置し活用させてもらっています。生徒たちは、体育大会までの限られた時間の中で、応援演舞の練習やマスコットの制作等、各団で一致団結して精一杯取り組んでいます。体育大会当日は、素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれるものと信じています。多くの保護者や地域の皆様の参観をお待ちしています。



# 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果より

本年4月14日に理科、17日に国語と数学において、3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果集計が7月末に公表されました。本校3年生の状況についてお知らせします。実施内容は、教科に関する内容(国語・数学・理科の問題)及び生徒質問紙調査になります。

## <教科に関する状況>

国語の平均正答率においては全国平均54.3%、県平均53%に対し、本校46%とそれ下回っていました。特に「書くこと」「読むこと」の領域について大きな課題があることが分かりました。

数学の平均正答率においては全国平均48.3%、県平均44%に対し、本校40%とそれ下回っていました。特に「数学的な表現を用いて説明することや反例をあげること」等の説明する力が弱いことが分かりました。

理科については、今回よりCBT(Computer Based Testingの略称)が採用され、タブレットPCを利用した調査方法になりました。調査結果も正答率ではなくIRTスコア(生徒の正答・誤答が、問題の特性[難易度、測定精度]によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する方法)が採用されています(下図を参照)。IRTスコアの基準500に対し、本校は498と全国平均503とほぼ同程

<参考> 素点方式(正答数・正答率)、IRT方式の比較 ※視力検査を例としたイメージ

度でした。特に難易度の高い問題の中で、電気回路や地層、呼吸の分野で全国平均を大きく上回っていました。

この結果を踏まえ、課題の見られた内容については、各教科で細やかな分析を行い、2学期以降の授業や定期考査等で対策を図っています。

くとともに、今後の授業の改善につなげていきます。

## <生徒質問紙調査の状況>

### (1) 全国平均と比較して10%以上高かった項目(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した合計)

質問項目	本校	全国
将来の夢や目標を持っていますか。	80.0%	67.5%
読書は好きですか。	72.0%	61.6%

### (2) 全国平均と比較して20%以上低かった項目(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した合計)

質問項目	本校	全国
自分にはよいところがあると思いますか。	64.0%	86.2%
困りごとや不安あるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	52.0%	73.2%
学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていますか。	64.0%	84.7%
国語の勉強は得意ですか。	24.0%	51.4%
国語の授業で、文章を読み、その構成や展開にどのような効果があるか根拠を明確にして考えていますか。	48.0%	74.0%
数学の問題の解き方が分からぬときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	56.0%	76.2%
文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、書かれていることを理解できますか。	40.0%	67.1%

### (3) 肯定率が100%だった項目(「そう思う」「だいたいそう思う」の回答)

質問項目	本校	全国
いじめはどんな理由があってもいいことだと思いますか。	100%	95.9%
数学では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題をどのように解答しましたか。	100%	93.7%
※「最後まで書こうと努力した」+「書くことを途中であきらめた」の合計		

以上のような状況でした。これらの結果を踏まえ、しっかりと課題の分析を行い、今後の教育活動に生かしていきます。

なお、熊本県の平均及び県下全体の状況については、熊本県教育委員会ホームページで公表されていますので参考にされてください。